

## 災害はいつ発生するかわかりません!

～災害時はこのように行動してください～

区分	行動内容
地震発生・0～2分	グラツと揺れたら、とにかく、落下物などから自分の身を守りましょう。机の下に入ったり、家具から離れることが大切です。普段から家の中の安全チェックをしましょう。
地震直後・2分～5分	まずなによりも、しっかり火の始末。出火防止です。消火のチャンスは3度あります。揺れを感じた時 大揺れが収まった時 出火した時
5分～10分	火の始末をしたら、わが家の安全を確認しましょう。自分の身の安全が確保できたら、家族の身の安全を確保しましょう。月に一度は家族で防災会議を開きましょう。役割分担を決めたり、いざというときの避難場所や連絡方法を決めておきましょう。小・中学校、高校等がいつとき避難場所になっています。
10分～半日	隣近所の安否を確かめ合い、お互いに助け合いましょう。個人での応急活動には限界があります。隣近所で協力し合って行動しましょう。いざというときに備えて、普段から隣近所の協力体制をつくっておきましょう。
半日～3日	地震発生後、数日間、水道・ガス・電気や電話などのライフラインをはじめ、食料の流通が途絶えます。2～3日は自分でしのげる非常用品を日ごろから備えておきましょう。
3日以降	防災機関の応急・復旧活動が軌道にのり、ライフラインの本格的な復旧活動が始まります。市民・企業・行政が一体となって復興まちづくりを始めます。

## 8月21日(木) 午前8時半～正午 久留米中学校で

訓練当日サイレンがなります  
身の安全確認を!

訓練当日の8月21日午前8時43分に、警戒宣言発令を知らせるサイレン(45秒鳴り、15秒休み、3回繰り返す)と半鐘(5点連打を繰り返す)を市内全域で鳴らします。これを合図に各ご家庭では火の元の点検や水のくみ置きなどの訓練を行ってください。

今年の訓練の対象地区は、幸町一～五丁目の皆さんですが、この地域以外の方もぜひご参加ください。前日と当日

に、防災無線で放送します。なお、災害が発生した場合、訓練を中止します。

今年度の訓練の対象地区は、幸町一～五丁目の皆さんですが、この地域以外の方もぜひご参加ください。前日と当日

に、防災無線で放送します。なお、災害が発生した場合、訓練を中止します。

# いざいざ!とついにときに備えて 総合防災訓練を実施

わが国は世界でも有数の地震国で、世界全体で発生する地震のうち約10%が日本で発生しています。

平成7年の阪神・淡路大震災から8年余りが経過していますが、今もなお私たちの脳裏から離れないほど大きな被害を出しました。災害はその後、各地で頻発しています。最近では三陸南地震が発生したように、地震等の災害による被害が全国各地で発生しています。私たちの住む多摩地域でも、東海地震や南関東直下型地震の発生が指摘されています。もし、日中に東京直下に地震が起こった場合、通勤・通学者や買い物客等の帰宅困難者は371万人と推定されていますが、その一人は自分かもしれません。

自然災害の発生を防ぐことは困難ですが、事前の対策や発生時の対応次第で、被害は最小限に防ぐことができます。そのためには、日ごろからの「備え」が何よりも大切で、市は地域防災計画によって取り組んでいます。

その一環として、9月1日の防災の日を前に、防災関係機関やボランティア団体などの方々と、震災発生を想定した総合防災訓練を、8月21日(木)の午前8時半～正午、久留米中学校を訓練会場として実施します。

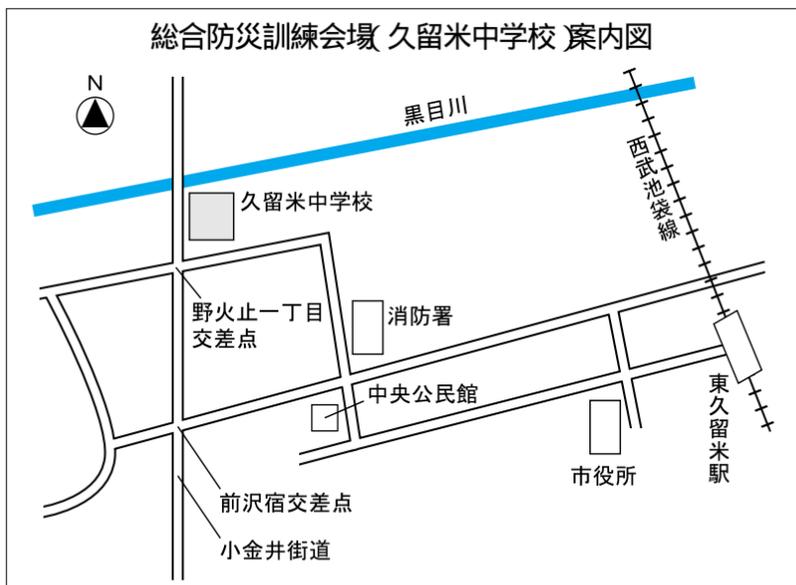
詳しくは総務部総務課防災係(内線2223)へ。

## 訓練の内容

避難活動訓練「対象地域の自治会ごとに久留米中学校まで避難します」  
誘導訓練「保育園児を市立久留米中学校まで誘導します」  
緊急道路啓開訓練「不通となった緊急輸送用道路の障害物を取り除き、通行を確保します」  
応急給水訓練「避難者への水の供給をします」  
炊き出し訓練「非常食糧の炊き出しをします」  
ライフライン復旧訓練「電力・ガス・電話の応急復旧訓練をします」  
救護物資輸送訓練「近隣市との相互応援協定により、救護物資が到着します」  
応急救護訓練「三角きんを使った応急手当を指導します」  
救出・救護訓練「中高層



グラグラツきたら、あわてずに行動を!(起震車による地震体験 昨年の防災訓練から)



- ### 訓練参加機関
- 東久留米市 東久留米市消防団
  - 防本部 東久留米市消防団
  - 近隣自治体、陸上自衛隊第1後方支援連隊、警視庁田無警察署、東京消防庁、東京都
  - 東久留米市 東久留米市消防団
  - 防本部 東久留米市消防団
  - 近隣自治体、陸上自衛隊第1後方支援連隊、警視庁田無警察署、東京消防庁、東京都
  - 東久留米市 東久留米市消防団
  - 防本部 東久留米市消防団
  - 近隣自治体、陸上自衛隊第1後方支援連隊、警視庁田無警察署、東京消防庁、東京都

## ● 訓練の想定 ●

- 東海地震にかかる予知対応型  
気象庁からの異常データ報告に基づき、内閣総理大臣が地震防災緊急対策をとる必要があるときに発令する「警戒宣言発令」の場合に、社会的混乱を防ぐことを目的とした広報訓練を行います。
- 多摩東部直下型地震対応型  
多摩東部に震度6の地震が発生し、建物の倒壊や火災、窓ガラスの破損落下、家具などの転倒によって負傷者が続出した場合を想定した各種訓練を行います。

東久留米CPR友の会  
第7回  
防災まちづくり大賞  
「優良事例」に選出

防災まちづくり大賞は、総務省消防庁と財団法人消防科学総合センターの主催で、地域の防災力の向上を図ることを目的に、地方公共団体や地域のコミュニティ等が行っている防災に関するさまざまな取り組みのうち、特に優れたものについて表彰を行っています。

今回の選出は、同会が日ごろ行っている「心肺蘇生せせい法の普及活動」が他地域の参考となるような優れた取り組み事例として評価されたものです。

市内でも、同会を含めて、防災に関する取り組みがますます盛んになることが期待されます。